

平成 2 3 年度

小山市水道事業会計

決算審査意見書

小山市病院事業会計

平成 2 3 年 4 月 1 日から

平成 2 4 年 3 月 3 1 日まで

小 山 市 監 査 委 員

小監第 45 号
平成 24 年 8 月 3 日

小山市長 大久保 寿 夫 様

小山市監査委員 山 本 二 男

小山市監査委員 高 田 純 子

小山市監査委員 青 木 美 智 子

平成 23 年度小山市公営企業会計の決算審査意見書について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により、審査に付された平成 23 年度
小山市水道事業会計及び小山市病院事業会計の決算を審査したので、その結果
について次のとおり意見書を提出する。

目 次

病院事業会計

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
1	業 務 の 概 要	2
2	予算の執行状況	3
(1)	収益的収入及び支出	3
(2)	資本的収入及び支出	4
(3)	一般会計補助金等	4
3	営 業 成 績	5
(1)	収 益	5
(2)	費 用	6
(3)	経 営 比 率	6
4	財 政 状 態	6
(1)	資 産	6
(2)	負債・資本	7
(3)	企 業 債	7
(4)	一時借入金	7
(5)	他会計出資金	7
(6)	貯 蔵 品	7
(7)	財 務 比 率	7
5	総 括 的 意 見	8
6	資 料	10

平成 2 3 年度小山市病院事業会計決算審査意見書

第 1 審査の対象

平成 2 3 年度小山市病院事業会計決算

第 2 審査の期間

平成 2 4 年 6 月 8 日から平成 2 4 年 8 月 3 日まで

第 3 審査の方法

審査に付された決算書及び附属書類について次により審査を行った。

- 1 審査に付された書類が関係法令に準拠して作成されているか。
- 2 計数に誤りがないか。
- 3 会計事務が適法な手続きによって処理されているか。
- 4 収入の確保及び支出の執行は適正に行われているか。
- 5 経営は合理的に運営されているか。
- 6 財政状態はどうか。

等について調査照合を行い、審査を補足するため関係職員から説明を聴取するとともに定例監査及び例月出納検査の結果を参考とした。

第 4 審査の結果

審査に付された決算書及び附属書類は、地方公営企業関係法令及び小山市病院事業の財務に関する特例を定める規程に準拠して作成されたもので、平成 2 3 年度の経営成績及び平成 2 3 年度末の財政状態を適正に表示しており、決算の計数については正確なものと認めた。

なお、病院事業の決算諸表に表示するところにより、業務の概要、予算の執行状況と経営成績及び財政状態を考察検討した結果は、次のとおりである。

(注) なお、意見書中、小数点第 1 位、千円を単位として表した数字は、原則として四捨五入としたが、端数を整理するため調整した数字もある。

1 業務の概要

本年度の患者総数は 226,586 人で前年度 261,640 人と比較して 35,054 人(13.4%)の減少となっている。これを入院患者、外来患者別にみると、入院患者が 81,949 人で前年度 91,024 人と比較して 9,075 人(10.0%)の減少、外来患者が 144,637 人で前年度 170,616 人と比較して 25,979 人(15.2%)の減少となっている。一日平均では、入院患者が 224 人で外来患者が 593 人である。

人間ドックの利用者は 816 人で、前年度の 785 人と比較して 31 人(3.9%)の増加である。

また、検査・その他の件数は、臨床検査、レントゲン、内視鏡、調剤において増加しているが、手術、分娩、理学療法、給食において減少している。

表 1 患者数の推移

区 分	入 院			外 来		
	2 3 年度	2 2 年度	2 1 年度	2 3 年度	2 2 年度	2 1 年度
内 科	人 15,612	人 16,133	人 15,471	人 35,131	人 36,395	人 34,513
神 経 内 科	8,106	8,243	8,451	9,457	6,847	6,474
循 環 器 科	9,130	9,641	8,360	14,191	14,516	14,347
消化器内科	11,399	12,427	9,558	15,497	16,713	15,120
小 児 科	3,958	4,304	4,325	10,944	10,595	13,201
外 科	12,264	13,058	13,006	11,230	11,386	12,773
脳神経外科	—	4,094	6,687	5,618	8,254	9,122
整 形 外 科	17,993	15,224	15,544	20,107	22,160	22,011
皮 膚 科	—	—	—	3,447	3,210	3,234
泌 尿 器 科	2,480	1,244	3,344	10,559	10,399	10,584
産 婦 人 科	—	4,830	6,607	1,614	8,448	10,215
眼 科	—	670	457	—	13,839	13,631
耳鼻咽喉科	1,007	1,156	2,011	6,703	7,854	8,323
麻 酔 科	—	—	—	139	—	—
計	81,949	91,024	93,821	144,637	170,616	173,548
人間ドック	—	—	—	816	785	860
合 計	81,949	91,024	93,821	145,453	171,401	174,408

表 2 検査・その他の件数

区 分	平 成 2 3 年 度	平 成 2 2 年 度	平 成 2 1 年 度
臨 床 検 査	1,200,117 件	1,172,564 件	1,115,072 件
レ ン ト ゲ ン	48,549 件	47,819 件	61,290 件
内 視 鏡	3,120 件	2,712 件	3,104 件
手 術	1,170 件	1,388 件	1,790 件
分 娩	0 件	207 件	270 件
理 学 療 法	26,048 件	28,634 件	34,281 件
調 剤	93,993 件	91,506 件	85,457 件
給 食	190,214 食	204,808 食	213,698 食
うち流動食の経管薬	564 食	594 食	3,346 食

2 予算の執行状況について

本事業年度における予算・決算の概要は別表 1 に示すとおりであるが、これを部門別にあげれば次のとおりである。なお、計数は消費税を含んだ額となっている。

(1)収益的收入及び支出

収 益 的 収 入	平 成 2 3 年 度	平 成 2 2 年 度	平 成 2 1 年 度
予 算 額	5,663,000 千円	6,336,000 千円	6,282,000 千円
決 算 額	4,993,039 千円	5,552,824 千円	5,482,107 千円
差 引 増 減	669,961 千円	783,176 千円	799,893 千円
執 行 率	88.2%	87.6%	87.3%

収益的收入の決算額は 4,993,039 千円であり、予算額 5,663,000 千円に対して 88.2%の執行率で 669,961 千円の収入減となっている。これを前年度決算額 5,552,824 千円と比較すると 559,785 千円(10.1%)の減収となっている。医業収益、医業外収益ともに減収している。

収 益 的 支 出	平 成 2 3 年 度	平 成 2 2 年 度	平 成 2 1 年 度
予 算 額	5,663,000 千円	6,336,000 千円	6,112,000 千円
決 算 額	5,393,053 千円	5,558,232 千円	5,523,711 千円
不 用 額	269,947 千円	777,768 千円	588,289 千円
執 行 率	95.2%	87.7%	90.4%

収益的支出の決算額は 5,393,053 千円であり、予算額 5,663,000 千円に対して 95.2%の執行率で 269,947 千円の不用額を生じている。これを前年度決算額 5,558,232 千円と比較すると 165,179 千円(3.0%)の減少となっている。医業費

用、医業外費用、特別損失とも減少している。

(2) 資本的収入及び支出

資 本 的 収 入	平 成 2 3 年 度	平 成 2 2 年 度	平 成 2 1 年 度
予 算 額	430,218 千円	280,177 千円	280,361 千円
決 算 額	401,716 千円	277,775 千円	261,059 千円
差 引 増 減	28,502 千円	2,402 千円	19,302 千円
執 行 率	93.4%	99.1%	93.1%

資本的収入の決算額は401,716千円であり、予算額430,218千円に対して93.4%の執行率で、28,502千円の収入減となっている。これを前年度決算額277,775千円と比較すると123,941千円(44.6%)の増収となっている。企業債、出資金が増収している。

資 本 的 支 出	平 成 2 3 年 度	平 成 2 2 年 度	平 成 2 1 年 度
予 算 額	570,743 千円	431,611 千円	434,691 千円
決 算 額	517,958 千円	430,136 千円	411,983 千円
翌 年 度 繰 越 額	0 千円	0 千円	0 千円
不 用 額	52,785 千円	1,475 千円	22,708 千円
執 行 率	90.8%	99.7%	94.8%

資本的支出の決算額は517,958千円であり、予算額570,743千円に対して90.8%の執行率で52,785千円の不用額を生じている。これを前年度決算額430,136千円と比較すると87,822千円(20.4%)の増加となっている。企業債償還金は減少しているが、建設改良費(医療機器等購入費)は増加している。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額116,242千円は、過年度分損益勘定留保資金108,932千円と当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額7,310千円で補填した。

(3) 一般会計補助金等

収益的収入における一般会計補助金等は544,985千円で前年度681,962千円と比較して136,977千円(20.1%)減少している。総収益に占める割合は10.9%で前年度の12.3%と比較して1.4ポイント低下している。補助金等の内容の主なものは、救急医療の確保に要する経費183,465千円、病理解剖に要する経費34,616千円、未熟児医療に要する経費36,624千円、財政調整資金150,000千円などとなっている。

なお、資本的収入における一般会計補助金等は、254,216千円である。

3 営業成績について

本事業年度における損益計算書は別表2のとおりである。

本年度の総収益は4,983,596千円で前年度5,543,292千円と比較して559,696千円(10.1%)の減少となっている。これに対する総費用は5,385,514千円で前年度5,550,434千円と比較して164,920千円(3.0%)の減少となり、差引401,918千円の純損失を計上したことにより、累積欠損金は1,335,403千円(前年度933,485千円)となっている。

また、流動資産から流動負債を差し引いたマイナスの額が不良債務額となるが、本年度末で331,446千円のプラスとなっている。

(1)収益内容について

区 分	平成23年度	平成22年度	平成21年度
医 業 収 益	4,569,301 千円	5,008,361 千円	5,027,588 千円
医 業 外 収 益	414,295 千円	534,931 千円	444,285 千円
特 別 利 益	0 千円	0 千円	0 千円
合 計	4,983,596 千円	5,543,292 千円	5,471,873 千円

医業収益は4,569,301千円で前年度5,008,361千円と比較して439,060千円(8.8%)の減少となっている。これは入院収益、外来収益、その他医業収益ともに減少したためである。

医業外収益は414,295千円で前年度534,931千円と比較して120,636千円(22.6%)の減少となっている。これは他会計補助金、負担金交付金などが減少したためである。

表3 患者一人当たりの薬品費及び収益比較表

区 分	平成23年度		平成22年度		平成21年度	
	金 額	前 年 比	金 額	前 年 比	金 額	前 年 比
薬 品 費	3,083 円	106.3%	2,899 円	102.8%	2,819 円	94.8%
医 業 収 益	20,166 円	105.3%	19,142 円	101.8%	18,804 円	102.0%

(2)費用内容について

区 分	平成 2 3 年度	平成 2 2 年度	平成 2 1 年度
医 業 費 用	5,239,780 千円	5,397,055 千円	5,364,997 千円
医 業 外 費 用	130,765 千円	135,672 千円	138,241 千円
特 別 損 失	14,969 千円	17,707 千円	12,065 千円
合 計	5,385,514 千円	5,550,434 千円	5,515,303 千円

医業費用は 5,239,780 千円で前年度 5,397,055 千円と比較して 157,275 千円(2.9%)の減少となっている。内容は、給与費が 80,456 千円(2.6%)の減少、材料費が 99,043 千円(8.0%)の減少、経費が 26,309 千円(3.3%)の増加、減価償却費が 1,805 千円(0.8%)の減少、資産減耗費が 2,670 千円(52.0%)の減少、研究研修費が 390 千円(4.1%)の増加である。

医業外費用は 130,765 千円で前年度 135,672 千円と比較して 4,907 千円(3.6%)の減少となっている。内容は、支払利息及び企業債取扱諸費が 5,294 千円(18.1%)の減少、雑損失が 387 千円(0.4%)の増加である。

特別損失は 14,969 千円で前年度 17,707 千円と比較して 2,738 千円(15.5%)の減少となっている。内容は、平成 1 8 年度分に係る不納欠損処分が 110 件で 14,969 千円(前年度 107 件・17,707 千円)である。

表 4 医業収益に対する医業費用比較表

区 分	平成 2 3 年度	平成 2 2 年度	平成 2 1 年度
医 業 費 用	1 1 4 . 7 %	1 0 7 . 8 %	1 0 6 . 7 %

(3)経営比率について

経営比率は、次表のとおりである。

表 5 経営分析表

区 分	23 年度	22 年度	21 年度	算 式
自己資本構成比率	59.4%	62.8%	54.5%	(自己資本金 + 剰余金) / 負債資本合計 * 100
自己資本回転率	2.1 回	2.4 回	2.6 回	医業収益 / {(期首自己資本 + 期末自己資本) } / 2

4 財政状態について

本事業年度における貸借対照表は別表 3 のとおりである。

(1)資産

本年度末の資産総額は 3,525,499 千円で、この内訳は固定資産 2,466,199 千円及び流動資産 1,059,300 千円である。これを前年度末資産総額 3,570,393 千円と比較すると 44,894 千円(1.3%)の減少となっている。これは流動資産において 26,110 千円(2.5%)増加したものの、固定資産において 71,004 千円(2.8%)減少したためである。

固定資産の減少の要因は、器械備品が 42,605 千円（9.0％）増加したものの、建物が 113,069 千円（6.1％）、構築物が 201 千円（2.8％）、車輛が 339 千円（13.1％）減少したためである。流動資産の増加の要因は、貯蔵品が 4,742 千円（26.1％）減少したものの、現金預金が 24,682 千円（11.3％）、未収金が 6,170 千円（0.8％）増加したためである。

(2)負債・資本

本年度末の負債総額は 727,853 千円で、前年度負債総額 408,099 千円と比較すると 319,754 千円（78.4％）増加している。その要因としては、流動負債のうち、一時借入金が 300,000 千円（皆増）、未払金が 20,455 千円（5.5％）増加したためである。

一方、資本の本年度末総額は 2,797,646 千円で、これを前年度末資本総額 3,162,293 千円と比較すると 364,647 千円（11.5％）の減少となっている。これは自己資本金が 254,216 千円（13.4％）増加したものの、借入資本金が 216,946 千円（23.6％）減少し、また欠損金が 401,918 千円（43.1％）増加したためである。

(3)企業債

本年度の借入総額は 147,500 千円であり、全額を医療機械器具整備事業に充てている。また、本年度の償還額は 364,446 千円で、その結果、本年度末残高は 703,413 千円であり、前年度末残高 920,359 千円と比較すると 216,946 千円（23.6％）減少している。

(4)一時借入金

本年度末の一時借入金の残高は 300,000 千円であり、前年度末と比較して、300,000 千円増加している。本年度中における借入残高最高額は 600,000 千円であった。

なお、予算第 7 条で定めた一時借入金の限度額は 1,500,000 千円である。

(5)他会計出資金

本年度については、一般会計からの受け入れ額は 254,216 千円である。

(6)貯蔵品

本年度末の貯蔵品の現在高は 13,430 千円で、前年度末現在高 18,172 千円と比較して 4,742 千円（26.1％）の減少となっている。

表 6 貯蔵品

年度 品名	平成 23 年度		平成 22 年度		22 年度に対する 23 年度の増減
	金額	前年比	金額	前年比	
薬 品	12,846 千円	73.7%	17,426 千円	119.2%	4,580 千円
給 食 材 料	485 千円	74.5%	651 千円	90.4%	166 千円
診 療 材 料	99 千円	104.2%	95 千円	27.9%	4 千円
合 計	13,430 千円	73.9%	18,172 千円	115.9%	4,742 千円

(7)財務比率

財政状態を示す財務比率は、別表 4 の経営分析表のとおりである。

5 総括的意見

本年度の病院事業会計における決算の概要は、以上のとおりである。

区 分	平成 2 3 年 度	平成 2 2 年 度	平成 2 1 年 度
医 業 収 益	4,569,301 千円	5,008,361 千円	5,027,588 千円
医 業 費 用	5,239,780 千円	5,397,055 千円	5,364,997 千円
医 業 収 支	670,479 千円	388,694 千円	337,409 千円
医 業 外 収 益	414,295 千円	534,931 千円	444,285 千円
医 業 外 費 用	130,765 千円	135,672 千円	138,241 千円
医 業 外 収 支	283,530 千円	399,259 千円	306,044 千円
経 常 収 支	386,949 千円	10,565 千円	31,365 千円
特 別 利 益	0 千円	0 千円	0 千円
特 別 損 失	14,969 千円	17,707 千円	12,065 千円
事業収支(当年度純損失)	401,918 千円	7,142 千円	43,430 千円

本年度の経営成績をみると、医業収支については 670,479 千円の医業損失を計上した。前年度医業損失 388,694 千円と比較すると 281,785 千円(72.5%)増加している。その要因としては、診療科の休診または一部休診などによる外来・入院患者の減少、手術件数の減少や経費のうち施設を維持するための燃料費や賃借料、賠償に伴う雑費の増加などが考えられる。なお、入院の 1 日平均患者数が前年度 249 人から 224 人と 25 人(10.0%)減少し、それに伴い病床利用率が前年度 72.9%から 65.5%と 7.4 ポイントも大きく低下している。また、職員数は前年度 335 人から 19 人(5.7%)減少したにもかかわらず、医業収益が前年度に比べ減少したことから医業収益に対する職員給与比率は前年度 52.1%から 54.7%と 2.6 ポイント上昇している。その結果、効率的な経営状況を示す医業収支比率は、前年度 92.8%から 87.2%と 5.6 ポイント低下し、平成 22 年度地方公営企業年鑑の市立黒字病院平均値(以下、平均値)99.1%と比較すると 11.9 ポイントと大きく下回っている。

医業外収支については 283,530 千円の黒字を計上した。前年度 399,259 千円と比較すると 115,729 千円(29.0%)減少している。その要因としては、他会計補助金(財政調整資金)が削減されたことなどが考えられる。以上の結果、経常収支は 386,949 千円の赤字となっている。前年度 10,565 千円の黒字と比較すると 397,514 千円減少となり、これに特別利益と特別損失を加えた事業収支では 401,918 千円の純損失となっている。

なお、経営状況や財政状況を経営分析表でみると、企業にとって最も重要な指標の一つである経常収支比率は 92.8%で、前年度 100.2%と比較すると 7.4 ポイント低下している。また、経営の安全性を測る自己資本構成比率は、前年度 62.8%から 59.4%と 3.4 ポイント低下し、平均値 44.5%と比較すると、14.9 ポイント上回っている。一方、医業収支については、前述のとおり損失を計上しており、前年度と同様にその補填を医業外収益、つまり一般会計からの補助金等に依存している。本年度の他会計繰入金対経常収益比率をみると、前年度の 12.3%から 10.9%に減少しているが、平均値 9.3%からすると、引き続き高い比率で依存していることが判る。今後とも収益の増収を図りつつ、さらなる経費の削減に努めていただきたい。

市民病院は平成 25 年度から地方独立行政法人としての新経営形態への移行を進めており、これにより公共性の高い医療を担保しつつ、機動的かつ柔軟な運営により経営改善ができることを期待している。また平成 27 年度末には二次救急医療機能や急性期医療機能の体制を整備した新市民病院の開設が予定されている。現在、病院事業の経営環境は極めて厳しい状況であるが、更なる経営改善に努め、医師や看護師を安定的に確保し、特色を持った病院として、質の高い医療を提供することにより、医業収益の確保と更なる経費削減に取り組み、将来にわたり地域や市民からの信頼に足る病院となることを望むものである。

資 料

1 予 算 決 算 対 照 表

2 損 益 計 算 書

3 貸 借 対 照 表

4 経 営 分 析 表

別表1 予算決算対照表

収益の収入

(単位 円・%)

区 分 科 目	予 算 額		決 算 額			差 引 増 減	備 考 (仮受消費税及 び地方消費税)
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	執 行 率		
病院事業収益	5,663,000,000	100.0	4,993,039,307	100.0	88.2	669,960,693	
1 医業収益	5,255,246,000	92.8	4,577,564,571	91.7	87.1	677,681,429	8,262,970
2 医業外収益	407,752,000	7.2	415,474,736	8.3	101.9	7,722,736	1,190,213
3 特別利益	2,000	0.0	0	0.0	0.0	2,000	

収益の支出

(単位 円・%)

区 分 科 目	予 算 額		決 算 額			不 用 額	備 考 (仮払消費税及 び地方消費税)
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	執 行 率		
病院事業費用	5,663,000,000	100.0	5,393,052,883	100.0	95.2	269,947,117	
1 医業費用	5,563,410,000	98.2	5,300,322,947	98.3	95.3	263,087,053	60,543,031
2 医業外費用	83,322,000	1.5	77,760,802	1.4	93.3	5,561,198	
3 特別損失	15,268,000	0.3	14,969,134	0.3	98.0	298,866	
4 予備費	1,000,000	0.0	0	0.0	0.0	1,000,000	

資本の収入

(単位 円・%)

区 分 科 目	予 算 額		決 算 額			差 引 増 減	備 考
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	執 行 率		
資本の収入	430,218,000	100.0	401,716,000	100.0	93.4	28,502,000	
1 企業債	176,000,000	40.9	147,500,000	36.7	83.8	28,500,000	
2 出資金	254,216,000	59.1	254,216,000	63.3	100.0	0	
3 補助金	1,000	0.0	0	0.0	0.0	1,000	
4 固定資産売却代金	1,000	0.0	0	0.0	0.0	1,000	

資本の支出

(単位 円・%)

区 分 科 目	予 算 額		決 算 額			不 用 額	備 考 (仮払消費税及 び地方消費税)
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	執 行 率		
資本の支出	570,743,000	100.0	517,957,591	100.0	90.8	52,785,409	
1 建設改良費	206,297,000	36.1	153,511,905	29.6	74.4	52,785,095	7,310,090
2 企業債償還金	364,446,000	63.9	364,445,686	70.4	100.0	314	

別表2 病院事業会計損益計算書(前年度比較)

費用の部

(単位 円・%)

科 目	平成 23 年 度	構成比	平成 22 年 度	構成比	前 年 度 対 比	
					比 較 増 減	対比率
1 医業費用	5,239,779,916	97.3	5,397,055,734	97.2	157,275,818	97.1
(1) 給与費	3,048,023,293	56.6	3,128,479,362	56.3	80,456,069	97.4
(2) 材料費	1,143,241,823	21.2	1,242,285,470	22.4	99,043,647	92.0
(3) 経費	821,514,514	15.3	795,205,192	14.3	26,309,322	103.3
(4) 減価償却費	214,750,247	4.0	216,555,611	3.9	1,805,364	99.2
(5) 資産減耗費	2,464,256	0.0	5,133,909	0.1	2,669,653	48.0
(6) 研究研修費	9,785,783	0.2	9,396,190	0.2	389,593	104.1
2 医業外費用	130,765,242	2.4	135,671,670	2.5	4,906,428	96.4
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	23,940,760	0.4	29,234,662	0.6	5,293,902	81.9
(2) 雑損失	106,824,482	2.0	106,437,008	1.9	387,474	100.4
3 特別損失	14,969,134	0.3	17,706,765	0.3	2,737,631	84.5
(1) 固定資産売却損	0	0.0	0	0.0	0	—
(2) 過年度損益修正損	14,969,134	0.3	17,706,765	0.3	2,737,631	84.5
小 計	5,385,514,292	100.0	5,550,434,169	100.0	164,919,877	97.0
当 年 度 純 利 益	0	—	0	—	0	—
合 計	5,385,514,292	—	5,550,434,169	—	164,919,877	97.0

収益の部

(単位 円・%)

科 目	平成 23 年 度	構成比	平成 22 年 度	構成比	前 年 度 対 比	
					比 較 増 減	対比率
1 医業収益	4,569,301,601	91.7	5,008,361,358	90.3	439,059,757	91.2
(1) 入院収益	2,846,229,277	57.1	3,129,631,613	56.4	283,402,336	90.9
(2) 外来収益	1,401,462,964	28.1	1,552,503,058	28.0	151,040,094	90.3
(3) その他医業収益	321,609,360	6.5	326,226,687	5.9	4,617,327	98.6
2 医業外収益	414,294,751	8.3	534,930,569	9.7	120,635,818	77.4
(1) 受取利息及び配当金	76,010	0.0	116,693	0.0	40,683	65.1
(2) 他会計補助金	233,129,000	4.7	363,468,000	6.6	130,339,000	64.1
(3) 国県補助金	26,382,308	0.5	26,936,348	0.5	554,040	97.9
(4) 負担金交付金	105,767,000	2.1	119,051,000	2.1	13,284,000	88.8
(5) その他医業外収益	48,940,433	1.0	25,358,528	0.5	23,581,905	193.0
3 特別利益	0	0.0	0	0.0	0	—
(1) 固定資産売却益	0	0.0	0	0.0	0	—
(2) 過年度損益修正益	0	0.0	0	0.0	0	—
小 計	4,983,596,352	100.0	5,543,291,927	100.0	559,695,575	89.9
当 年 度 純 損 失	401,917,940	—	7,142,242	—	394,775,698	5,627.3
合 計	5,385,514,292	—	5,550,434,169	—	164,919,877	97.0

別表3 病院事業会計貸借対照表(前年度比較)

資産の部

(単位 円・%)

科 目	平成23年度	構成比	平成22年度	構成比	前年度対比 比較増減	対比率
1 固定資産	2,466,199,343	70.0	2,537,202,881	71.1	71,003,538	97.2
(1) 有形固定資産	2,464,855,204	70.0	2,535,858,742	71.0	71,003,538	97.2
イ 土地	196,509,876	5.6	196,509,876	5.5	0	100.0
ロ 建物	1,740,604,067	49.4	1,853,673,035	51.9	113,068,968	93.9
ハ 構築物	6,973,087	0.2	7,173,787	0.2	200,700	97.2
ニ 器械備品	518,525,420	14.7	475,920,550	13.3	42,604,870	109.0
ホ 車輛	2,242,754	0.1	2,581,494	0.1	338,740	86.9
ヘ 建設仮勘定	0	0.0	0	0.0	0	—
(2) 無形固定資産	1,344,139	0.0	1,344,139	0.1	0	100.0
イ 電話加入権	1,344,139	0.0	1,344,139	0.1	0	100.0
2 流動資産	1,059,299,421	30.0	1,033,189,842	28.9	26,109,579	102.5
(1) 現金預金	242,707,735	6.9	218,026,116	6.1	24,681,619	111.3
(2) 未収金	802,761,339	22.7	796,591,312	22.3	6,170,027	100.8
(3) 貯蔵品	13,430,347	0.4	18,172,414	0.5	4,742,067	73.9
(4) その他流動資産	400,000	0.0	400,000	0.0	0	100.0
資 産 合 計	3,525,498,764	100.0	3,570,392,723	100.0	44,893,959	98.7

負債・資本の部

(単位 円・%)

科 目	平成23年度	構成比	平成22年度	構成比	前年度対比 比較増減	対比率
3 固定負債	0	0.0	0	0.0	0	—
(1) その他固定負債	0	0.0	0	0.0	0	—
4 流動負債	727,853,125	20.6	408,099,458	11.4	319,753,667	178.4
(1) 一時借入金	300,000,000	8.5	0	0.0	300,000,000	皆増
(2) 未払金	393,662,052	11.1	373,206,666	10.4	20,455,386	105.5
(3) その他流動負債	34,191,073	1.0	34,892,792	1.0	701,719	98.0
負 債 合 計	727,853,125	20.6	408,099,458	11.4	319,753,667	178.4
5 資本金	2,853,326,241	80.9	2,816,055,927	78.9	37,270,314	101.3
(1) 自己資本金	2,149,912,719	61.0	1,895,696,719	53.1	254,216,000	113.4
(2) 借入資本金	703,413,522	19.9	920,359,208	25.8	216,945,686	76.4
イ 企業債	703,413,522	19.9	920,359,208	25.8	216,945,686	76.4
6 剰余金	55,680,602	1.5	346,237,338	9.7	401,917,940	16.1
(1) 資本剰余金	1,279,722,726	36.3	1,279,722,726	35.8	0	100.0
イ 再評価積立金	11,669,000	0.3	11,669,000	0.3	0	100.0
ロ 受贈財産評価額	471,749,426	13.4	471,749,426	13.2	0	100.0
ハ 国県補助金	108,931,300	3.1	108,931,300	3.0	0	100.0
ニ 一般会計補助金	687,373,000	19.5	687,373,000	19.3	0	100.0
(2) 欠損金	1,335,403,328	37.8	933,485,388	26.1	401,917,940	143.1
イ 当年度未処理欠損金	1,335,403,328	37.8	933,485,388	26.1	401,917,940	143.1
資 本 合 計	2,797,645,639	79.4	3,162,293,265	88.6	364,647,626	88.5
負 債 ・ 資 本 合 計	3,525,498,764	100.0	3,570,392,723	100.0	44,893,959	98.7

別表4 経営分析表

分 析 項 目	23 年度	22 年度	21 年度	22 年鑑	算 式
固 定 資 産 構 成 比 率	70.0%	71.1%	73.7%	73.1%	$\{ \text{固定資産} / (\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延勘定}) \} * 100$
固 定 負 債 構 成 比 率	20.0%	25.8%	34.4%	48.5%	$\{ (\text{固定負債} + \text{借入資本金}) / \text{負債資本合計} \} * 100$
自 己 資 本 構 成 比 率	59.4%	62.8%	54.5%	44.5%	$\{ (\text{自己資本金} + \text{剰余金}) / \text{負債資本合計} \} * 100$
固定資産対長期資本比率	88.2%	80.2%	82.9%	78.6%	$\{ \text{固定資産} / (\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債}) \} * 100$
固 定 比 率	117.8%	113.2%	135.1%	164.1%	$\{ \text{固定資産} / (\text{自己資本金} + \text{剰余金}) \} * 100$
流 動 比 率	145.5%	253.2%	236.9%	367.1%	$(\text{流動資産} / \text{流動負債}) * 100$
酸 性 試 験 比 率	143.6%	248.6%	233.0%	350.3%	$\{ (\text{現金預金} + \text{未収金}) / \text{流動負債} \} * 100$
現 金 預 金 比 率	33.3%	53.4%	30.2%	195.9%	$(\text{現金預金} / \text{流動負債}) * 100$
自 己 資 本 回 転 率	2.1 回	2.4 回	2.6 回	2.0 回	$\text{医業収益} / \{ (\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) / 2 \}$
固 定 資 産 回 転 率	1.8 回	1.9 回	1.8 回	1.1 回	$\text{医業収益} / \{ (\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) / 2 \}$
減 価 償 却 率	8.6%	8.5%	8.2%	5.9%	$\{ \text{当年度減価償却費} / (\text{固定資産} - \text{土地} + \text{当年度減価償却費}) \} * 100$
流 動 資 産 回 転 率	4.4 回	5.0 回	5.3 回	3.0 回	$\text{医業収益} / \{ (\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) / 2 \}$
未 収 金 回 転 率	5.7 回	6.2 回	6.1 回	7.3 回	$\text{医業収益} / \{ (\text{期首未収金} + \text{期末未収金}) / 2 \}$
総 収 支 比 率	92.5%	99.9%	99.2%	103.2%	$(\text{総収益} / \text{総費用}) * 100$
経 常 収 支 比 率	92.8%	100.2%	99.4%	103.6%	$(\text{経常収益} / \text{経常費用}) * 100$
医 業 収 支 比 率	87.2%	92.8%	93.7%	99.1%	$(\text{医業収益} / \text{医業費用}) * 100$

注 22 年鑑……平成 22 年度地方公営企業年鑑の市立黒字病院平均値

分 析 項 目	23 年度	22 年度	21 年度	22 年鑑	算 式
利 子 負 担 率	2.4%	3.2%	2.8%	2.5%	{支払利息 / (一時借入金 + 借入資本金)} * 100
企業債償還元金対減価償却費比率	169.7%	179.1%	170.1%	102.2%	(建設改良の企業債償還元金 / 当年度減価償却費) * 100
職員給与費対料金収入比率	58.8%	55.8%	55.3%	54.4%	(職員給与費 / 料金収入) * 100
病 床 利 用 率	65.5%	72.9%	75.2%	76.8%	(年延入院患者数 / 年延病床数) * 100 (一般病床)
1 日 平 均 患 者 数 (入 院)	224 人	249 人	257 人	252 人	年延入院患者数 / 366 日 (一般病床)
1 日 平 均 患 者 数 (外 来)	593 人	702 人	717 人	582 人	年延外来患者数 / 外来診療日数(244 日)
外 来 入 院 患 者 比 率	176.5%	187.4%	185.0%	158.9%	(年延外来患者数 / 年延入院患者数) * 100 (一般病床)
医 師 1 人 1 日 当 り 患 者 数	16.2 人	16.9 人	17.6 人	13.0 人	(年延入院患者数 + 年延外来患者数) / 年延医師数
医師1人1日当り患者数(入院)	5.8 人	5.9 人	6.2 人	5.0 人	年延入院患者数 / 年延医師数
医師1人1日当り患者数(外来)	10.3 人	11.0 人	11.4 人	8.0 人	年延外来患者数 / 年延医師数
医業収益に対する職員給与費割合	54.7%	52.1%	51.5%	53.4%	(職員給与費 / 医業収益) * 100
病 床 1 0 0 床 当 り 職 員 数	98.0 人	98.0 人	95.0 人	120.9 人	{年度末職員数 / (年度末稼働病床数 - 年度末感染症病床数)} * 100
他会計繰入金対経常収益比率	10.9%	12.3%	10.9%	9.3%	(他会計繰入金 / 経常収益) * 100
他会計繰入金対医業収益比率	11.9%	13.6%	11.9%	10.3%	(他会計繰入金 / 医業収益) * 100
他会計繰入金対総収益比率	10.9%	12.3%	10.9%	9.5%	(他会計繰入金 / 総収益) * 100
1 床 当 り 繰 入 金 (収 益 的 収 入)	1,594 千円	1,994 千円	1,745 千円	—	他会計繰入金 / 年度末病床数

注 22 年鑑……平成 22 年度地方公営企業年鑑の市立黒字病院平均値